

発行

財団法人 日本ユニセフ協会 学校事業部

〒108-8607 東京都港区高輪4-6-12 ユニセフハウス TEL:03-5789-2014 FAX:03-5789-2034 Email:se-jcu@unicef.or.jp  
ホームページ http://www.unicef.or.jp 募金口座◎郵便振替・00190-5-31000・(財)日本ユニセフ協会

## 自然災害に対するユニセフの支援活動

**地**震や洪水などの自然災害は突然、人びとを襲い、失望や不安に陥れ、その後の生活に大きな影響を与えます。昨年は、日本でも大型台風の上陸や、中越地震の発生によって多くの人びとが被害を受けました。昨年12月26日、インドネシアのスマトラ沖で発生した大規模地震と巨大津波により、影響を受けたアジア・アフリカの国々には死者・行方不明者が23万人を越える事態となり（1月24日現在）、現在、国際社会が協力して懸命の支援を行っています。

自然災害時のユニセフの支援活動を、1年前の2003年の年末にイランで起きた地震と、昨年7月以降バングラデシュを襲った洪水を事例にご紹介します。



近くの高校に避難している家族（バングラデシュ）  
UNICEF Bangladesh-IACD/David Nunley/2004

### イランを襲った大地震

2003年12月26日（現地時間）に発生した大規模な地震（震度6.3）によって、イラン南東部のバム市近郊では下記の通りの壊滅的な被害となり、余震も100回ほど続きました。突然の大地震は人びとの貧しい生活までも奪い、将来にきびしい問題を残しています。多くの子どもたちは精神的に深刻なダメージを受けました。

隣の事務所が協力しました。コペンハーゲンのユニセフ物資供給センターや、アフガニスタン事務所からは必要な物資が48時間以内に届けられました。



崩壊した家から、身の周りのものを持ち出した女性（イラン）  
UNICEF/HQ004-0004/ Shehzad Noorani

緊急支援物資を乗せた飛行機には、保健の専門家も同乗しました。現地の医師に保健キットの中の薬の使い方



崩壊した家の前にたたずむ一家（イラン）  
Marc Vergara /UNICEF /January2004

#### イラン地震の被害状況 \*2004年1月9日時点 ユニセフ資料より

- ・死者数：41,000人（死者数は、2004年1月16日イラン政府発表による）
- ・負傷者数：30,000人（死者、負傷者の約半数は子ども）
- ・両親、または片方の親をなくした子ども：6,800人
- ・倒壊した学校：バム市内93校、近隣地域38校
- ・地震で何らかの影響を受けた人（失業、生活上の困難など）：20万人
- ・ほとんどの公共施設、電力、水が被害を受け、保健員をはじめとする人材が多く失われた。

### 地震—ユニセフの支援

ユニセフは地震発生直後から緊急支援体制に入り、48時間後、国連機関としてバム市に一番最初に入りました。「地震」の場合、何よりもまず命を助けなくてはなりません。ユニセフはイラン事務所を中心に、ヨーロッパや近

を説明することができ、支援を効率的に進められるからです。ユニセフは保健キット、浄水剤、簡易発電機、テント、毛布、学用品、冬用衣服などの物資を届けるほか、心が傷ついた子どもの心のケアにもつとめました。

復興支援では、「子どもに優しい町づくり」を紹介し、衛生環境の整備、学校再開の支援、子どもたちの保護や心のケアなどに取り組んでいます。

イラン地震に対する緊急募金の受付は終了いたしました。ご協力ありがとうございました。

## バングラデシュの大洪水

バングラデシュでは2004年7月～8月中旬にかけて、過去6年間で最悪の大洪水に見舞われました。230もの河川が交差するデルタ地帯のこの国は自然災害の影響を受けやすく、毎年洪水に見舞われ、人びとを苦しめるのですが、今回は例年をはるかに越える被害になったのです。農地が浸水して作物の被害は計り知れず、非常に多くの農民が収入源を失いました。30万基近くの井戸が浸水し、その汚水によって人びとが病気になっています。

10月以降もサイクロンや竜巻などが発生し、被害が拡大しています。1人あたりの所得が年間400ドル（日本の約100分の1）しかない貧しいバングラデシュでは、人びとの非常に厳しい生活がさらに過酷にならざるを得ない状況です。

### バングラデシュ洪水の被害状況 \*ユニセフ資料より

- ・洪水の被災者：3,500万人
- ・死亡者数：836人（このうち567人は子ども。2004年8月19日時点）
- ・学校の倒壊、深刻な被害：1,200校以上
- ・学校に行けなくなった子ども：400万人



孤児院の校庭に立つ少女。水の深さが分かる（バングラデシュ）  
UNICEF Bangladesh-IACD/David Nunley/2004

## 洪水—ユニセフの支援

「洪水」の場合、汚水や不衛生な環境による病気の発生や蔓延を防ぐことが重要です。バングラデシュでは短期間に非常に多くの子どもが下痢や肺炎などにかかりました。ユニセフは井戸の消毒、浄水剤の配布、避難所にトイレ、医薬品、予防接種、栄養補助食を提供するほか、



避難所に簡易トイレを設置。避難所での衛生管理は重要（バングラデシュ）  
UNICEF Bangladesh/  
Paul Edwards/2004

保健センターの修復、学校再開などさまざまな支援を行っています。避難を余儀なくされた多くの子どもや女性は社会的に弱い立場にあるため、虐待や暴力、搾取の対象になりやすく、ユニセフは安全な環境をつくるために働きかけたり、生活支援なども行っています。

## バングラデシュ洪水緊急募金 ご協力をお願いいたします

郵便振替：00110-5-79500

口座名義：財団法人 日本ユニセフ協会

通信欄に「バングラデシュ洪水」と記入してください

\*送金手数料は免除となります（免除期間についてはお問い合わせください）



はしかの予防接種を行う（バングラデシュ）  
UNICEF Bangladesh/Paula Plaza/2004

## 緊急支援を迅速に実施するために

ユニセフが緊急支援を実施する時は、現地の視察状況にもとづき、まず必要と考えられる計画をつくり、資金を投入して計画を実施していきます。その後、緊急支援の呼びかけで集まった資金が充当されます。

開発途上国で貧しい生活をしている人びとが自然災害に見舞われた時の被害は想像を越えるほどひどく、復興には多くの支援努力と時間が必要となります。

ユニセフは大規模な自然災害が発生した時、迅速に対応し、さまざまな組織と協力して効率よく成果のあがる支援活動を行います。「ユニセフ基礎講座」で具体的な内容をご紹介します。